



## 01 推進方針

社員の心身の健康を支え、働きがい、そして働きやすい環境を整えることで、人材の確保と成長を実現し、生産性向上と事業拡大を図る。さらに、健康経営の知見を活かした高品質なサービスや新たな健康ソリューションを提供し、顧客と社会への価値提供を通じて持続的な成長を目指す。

## 02 目標・課題

- 目標**
- ・風通しがよく、互いを認め尊重しあう職場環境の醸成
  - ・従業員の心身の健康保持増進による生産性向上

### 目標の達成状況を確認する指標(KGI)

指標(KGI)の概要	
従業員エンゲージメント、プレゼンティーズム、アブセンティーズム、ネガティブ要因による離職率	
指標(KGI)の目標値	達成目標年度
従業員エンゲージメント: +5%改善(24年度比) プレゼンティーズム: WLQ95% アブセンティーズム: +5%改善(24年度比) ネガティブ要因による離職率: 30%以内	2030年度

### 自社従業員の課題

- 重点課題①** [KGI] アブセンティーズム: +5%改善(24年度比)



#### ⑧健康状態にかかわらず全従業員に対する疾病の発生予防

### 課題内容

当社の経営理念である「より多くの『こころと身体』の健康の実現に貢献」するうえで社員一人ひとりが心身ともに健康な状態であることは重要である。そのためには疾病の早期発見・早期対応が重要であり、健康診断の二次健診の受診率は100%になるよう徹底する必要がある。

### 数値目標(KPI)

名称: 定期健康診断後二次検査の受診率

	数値	単位	年度
取組前実績値	53.5	%	2021年度
現在の実績値	98.0	%	2024年度
目標値	100	%	2025年度

- 重点課題②** [KGI] プレゼンティーズム: WLQ95%



#### ①従業員のウェルビーイングの実現に関する課題

### 課題内容

社員のレセプトデータおよびWfun結果の分析により、筋骨格系に対する医療費割合が最も高く、日常的な痛みも発生しているため、筋骨格系の改善が課題である。

### 数値目標(KPI)

名称: Wfunにおける労働機能評価の改善

	数値	単位	年度
取組前実績値	17.2	%	2024年度
現在の実績値	19.0	%	2025年度
目標値	25.0	%	2030年度

## 03 施策・実績

### 健康経営の取り組み

#### 施策内容(重点課題1)



#### 当社独自基準での保健指導の実施 従業員の健康リテラシー向上を目的とした情報提供

#### 具体的な実践内容1

分類	自社グループ組織
名称	社内保健指導
内容	当社独自の保健指導基準を設け、産業医および保健師による面談を実施
導入時期	2021年度
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保有リスクを分類のうえ、産業医・保健師による面談を実施。産業医の受診勧奨により二次検査受診につながっている。今後は本人の行動変容および健診結果の改善につなげるのが課題である。</li> </ul>

#### 具体的な実践内容2

分類	自社グループサービス
名称	LLax training
内容	Web動画配信サービス
導入時期	2022年度
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四半期ごとの定期配信に加え、新入社員研修・管理職研修にも組み込むことで、従業員の健康リテラシー向上および行動変容の実現を図っている。</li> </ul>

#### 具体的な実践内容3

分類	自社グループサービス
名称	Growbase/i-Wellness
内容	健診データ一括管理システム
導入時期	2021年度/2023年度
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受診予約のデジタル化・効率化および健診データの一元管理により、健診結果の早期把握を実現。産業医によるリスク分類や判定も一元化し、産業保健体制の基幹システムとして情報を円滑に共有している。</li> </ul>

#### 施策内容(重点課題2)



#### 理学療法士によるオフィス内でのストレッチ施術

#### 具体的な実践内容1

分類	外部サービス
名称	オフィストレッチ®
提供元社名	Well Body株式会社
内容	理学療法士によるオフィス内でのストレッチ施術
導入時期	2024年度
選択理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果</li> <li>・機能・性能</li> <li>・使いやすさ</li> </ul>
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施術後アンケートで「身体不調の改善した」と回答した割合: 99.3%</li> </ul>

## 04 健康経営の成果

検証指標	従業員エンゲージメント、プレゼンティーズム、アブセンティーズム、ネガティブ要因による離職率
検証手法・方法	アンケートやサーベイ結果の相関分析に加え、社内外の有識者の知見も取り入れながら客観的検証も実施。さらに、定期的に保険者よりレセプトデータ等取得し、分析結果に基づく健康施策の効果検証をするとともに、課題改善のための新たな健康施策を策定し、実行することで、各種指標の目標を達成できる体制を整えている。
検証結果(具体的な施策の成果を含む)	経年でイベント参加率(+17.4ポイント)や問診結果(+5.5ポイント)が改善し、結果、エンゲージメント「会社のウェルビーイング(私の幸福)」の改善(+0.05)に繋がっている。引き続き、PDCAで改善を図る。

### 取り組みにおいての課題や困っていること

現在実施している施策での課題や困っていること	<p>施術はスポットでの実施にとどまるため、筋骨格系の痛みという健康課題に対し、個々人の日常的かつ継続的な改善取組に向けた動機づけや習慣化の効果測定が課題。</p> <p>今は取り組めてない、今後取り組みたい施策での課題や困っていること</p>
------------------------	--

### データ活用事例

事例名	健康管理システムを活用した情報の利活用
内容	当社独自の基準を設けリスク保有者の選定のうえ、早期アプローチにつなげている。
利用データ	健康診断、問診
利用者(ユースケース類型)	産業保健スタッフ(ユースケース1)、従業員(ユースケース2, 3)